

日本海洋学会 2014 年度第 1 回幹事会 議事録

日時：2014 年 3 月 26 日（月）18：00～20：20

場所：東京海洋大学品川キャンパス 9 号館 203 号室

出席者：植松会長、須賀副会長、岡、川合、神田、久保田、杉崎、鈴木、原田、日比谷、山中、寄高、事務局毎日学術フォーラム（出戸、平坂）

議題：

1. 審議事項

(1) 議事録（案）確認（神田・川合幹事）

2013 年度第 7 回幹事会の議事録を一部修正の上、承認した。

(2) 2013 年度事業報告について（岡・小畑幹事）

2013 年度の事業報告の説明があった。印刷物の発行、大会等の開催、助成事業その他について確認した。

(3) 2014 年度事業計画について（岡・小畑幹事）

2014 年度の事業計画の説明があり、承認された。

(4) 2013 年度決算書及び 2014 年度予算案（河野・寄高幹事）

2013 年度決算報告の説明があった。来年度に約 440 万円を繰り越すことが確認された。また、貸借対照表、財産目録を確認した。

2014 年度予算案について説明があった。電子ジャーナル化準備金の利用は昨年度で終了したこと、震災対応報告書発行経費と会員名簿発行費を計上したことなどを確認した。

(5) JO とニュースレターの転載許諾書について（岡・小畑幹事）

新たに作成した JO と JOS ニュースレター（NL）の転載許諾申請書を確認した。提出先は大会事務局、申請方法は郵送または電子ファイルの送付とし、承認は庶務幹事が行うこと、書類は紙資料として、事務局で 5 年間保管することを決定した。

(6) 新たな海洋観測ガイドラインの作成に関わる委員会の設置について（小畑・岡幹事）

気象庁の内部資料である「海洋観測指針」に替わる新たな観測ガイドラインの作成に関わる委員会設置について議論した。その結果、「新たな海洋観測ガイドラインの作成に関わる WG（仮称）」を設置し、今後の活動内容や委員会設置の必要性なども含めて WG 内で議論することとなった。立ち上げ時の WG メンバーは、気象庁 中野俊也会員、福島大 青山道夫会員、JAMSTEC 内田裕会員、中央水研 小笠恒夫会員、KANSO 太田秀和会員、河野・岡両幹事とする。

(7) 大会参加費決済の契約について（鈴木幹事）

2014 年度春季大会で導入されたコンビニ決済（ペーパーレス決済サービス）について、大会実行委員長名で業者と契約している。そのため、新旧の委員長間で契約変更のためのやりとりが必要であり、審査などの手間がかかる。引き継ぎ作業をスムーズ

にするため、契約者を学会長に変更することが審議され、承認された。

(8) 春季評議員会議事次第案及び通常総会議事案について (岡・小畑幹事)

2014 年度春季評議員会および 2014 年度通常総会の議事次第案の説明があり、担当者と資料の確認を行った。「新たな海洋観測ガイドラインの作成に関わる WG (仮称)」の設置についての報告を議事に加えることとなった。

(9) その他

(日比谷幹事)

JO の掲載料の課金に関して、会員特典の対象者を「第一著者あるいは責任著者が会員であること」としていたが、「第一著者」のみに変更することが提案され、承認された。すなわち、「投稿時に第一著者が会員であること」を会員割引の条件とする。

2. 報告事項

(1) 会長 (植松会長)

- ・ 3 月 26 日に Buessler 氏、植松会長、神田幹事が米国大使館を訪問し、海洋における放射能汚染に関するブリーフィングを行った。
- ・ 同日、日本財団を訪問し、海洋学会の活動を紹介し、関係者と懇談した。

(2) 副会長 (須賀副会長)

- ・ 学会関連情報を NL に年 2 回掲載したことが報告された。一度に掲載する情報量をもう少し抑えることを検討している。

(3) 編集

- ・ JO (日比谷幹事)

2013 年度の発行状況について報告があった。

- ・ 海の研究 (久保田幹事)

2013 年度の発行状況について報告があった。

- ・ NL (津田幹事)

2013 年度の発行状況について報告があった。第一面に掲載する目玉記事のアイディアを募集している。

(4) 研究発表 (鈴木幹事)

前回の幹事会にて設立された「大会運営問題検討 WG (仮称)」の名称を「大会運営検討 WG」としたことが報告された。メンバーは幹事会からの 5 名と直近の大会実行委員会からの 3 名 (北大 大島慶一郎会員、長崎大 武田重信会員、気象庁 中野俊也会員) で、設置期間は 1 年間とする。参加費などの検討、研究発表プログラムなどの内容と決定プロセス、大会実行委員会の役割などに関して、会則の変更も視野に入れた検討を行う。3 月 27 日に初会合を予定している。

(5) 広報 (杉崎・原田幹事)

大会などのイベントカレンダーを学会ウェブサイトに掲載することを計画している。

(6) 教育問題研究会 (川合・神田幹事)

3月30日に第13回海のサイエンスカフェが品川で開催される。

(7) 日本地球惑星科学連合（原田幹事）

2014年度大会では、参加費を値上げしたにも関わらず、投稿件数は3900件と去年並みである。2015年度の大会は幕張での開催を予定している。また、次期セクションプレジデントの選挙があったこと、4月からフェロー制度が実施されることが報告された。

(8) 海洋未来技術研究会・日本海洋科学振興財団（須賀副会長）

若手対象の海外渡航援助について公募を開始し、通知を行ったことが報告された。

(9) 若手支援（須賀副会長）

若手集会助成の募集を開始したことが報告された。多分野の若手が一堂に会するような集会となるよう、幹事会メンバーから若手に働きかけてはどうかという意見が出された。また、3月29日に大会会場にて若手との意見交換会を予定していることが報告された。

(10) その他

(岡幹事)

マスタープランの表を英語訳した。

(植松会長)

学会外の各賞への推薦状況についての報告があった。

次回幹事会：5月（日程・場所未定）